

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス Like西島		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の連携。	事象に対してすぐに報告・連絡・相談をし、対応ができるような環境づくりを行っている。	正確性を高め、情報共有を徹底し、より連携が取れるよう話し合いの内容を濃いものにしていく。
2	保護者様との信頼関係の構築。	送迎時や面談時に保護者様とコミュニケーションを取り、ニーズや支援方法について都度話し合っている。また、連絡帳を用いてその日の様子をお伝えしている。	利用者様のSOSにもきちんと向き合い、安心して利用できる環境づくりにも取り組んでいく。 充実したブログ等のSNS用いて事業所での様子を発信していく。
3	否定せず寄り添い、安心感を大切にしたり関わり	利用者様ひとりひとりに寄り添い、丁寧な支援を職員全員が心がけている。 利用者様ひとりひとりの特性を踏まえて支援内容を共有している。	利用者様ひとりひとりの可能性を広げ、のびのびと挑戦できる環境をつくる。 職員間で利用者様のその日の情緒等些細なことでも共有し、支援の方向性をそろえる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	防災訓練や避難訓練の実施。	新規事業所がゆえに、保護者様、利用者様、職員の不安を感じる。	地震、火事等の訓練はもちろんだが、津波を想定した訓練も取り入れていく。
2	利用者様が意欲的に取り組めるプログラム作成。	プログラム内容のマンネリ化がある。	保護者様や利用者様のニーズを踏まえて考案する。 楽しんで取り組める活動内容や活動の流れを考えていく。
3	事業所でのスペースの使い方の確立。	情緒が乱れた際のクールダウンの場所等スペースの使い方。	職員間で事業所のルールを徹底していく。 環境を整え、SSTや日常の声かけの中で、利用者様に発信していく。